

理科

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
理科	ESD環境論	2	3年次・J1群	選択

目 標	履修の条件・連絡
1 愛媛の自然や産業について理解を深め、身近な自然の事物や現象に対する観察と実験を通して科学の方法を習得させ、科学的思考力や判断力を養う。 2 愛媛の自然や環境問題について理解を深め、持続可能な循環型社会を実現させるために、自分たちができることを考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共創系列の生徒は必ず選択。</li> <li>・その他の生徒は自由選択。</li> </ul>

使用教科書 (出版社)	理科学習資料 「探究」	副教材 (準備物)
----------------	----------------	--------------

学年	学期	月	学習内容 (単元・項目)	学習のねらい
年間計画	1学期	4月	第1章 愛媛の自然 第1節 地形と地質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛の地形や地質について、特徴やでき方について考える。</li> <li>・愛媛の気候について理解する。</li> <li>・特徴的な動植物を理解し、気候や地質、他の生物との関わりを考える。</li> </ul>
		5月	第2節 気候 第3節 植物 第4節 動物	
	6月	第2章 身の回りの科学 第1節 愛媛の産業と科学		
	7月			
	2学期	9月	第2節 愛媛の先駆者たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然科学の分野で業績を残した人物と、内容を理解する。</li> <li>・大気と水、土壌に人の生活が大きく影響しており、どのような環境問題が発生しているか理解する。</li> <li>・環境問題の原因と環境への影響を理解し、環境を守るためにしなければならないことを考える。</li> </ul>
		10月	第3章 環境問題の学習 第1節 大気汚染	
		11月	第2節 水質汚染 第3節 土壌汚染	
		12月	第4節 消えゆく動植物	
	3学期	1月	第4章 観察・実験と研究 第1節 研究の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の基礎技術、探究活動など研究の進め方を身に付ける。</li> <li>・課題解決の力を身に付け、社会で生かせるようにする。</li> </ul>
		2月		
		3月		

学習評価	観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	規 準	始業のチャイムまでに授業を受けられる体制になっているか。 実験の説明を真剣に聞いて理解し、一人で捜査できるか。	課題テーマでプレゼン発表を行い、必要な情報を調べ、科学的な思考で論理的に説明をし、他者に理解をさせることができる。	各分野で行う実験に自主的に取り組み、適切な方法で準備、操作を行い、レポート作成できるか。	教科書レベルの知識を丁寧に理解し、自主的に学習できているか。 実験で得た知識や経験を大切にしているか。
	手 段	・授業中の態度の観察 ・提出物の提出状況	・プレゼンの内容 ・レポートの内容	・実験中の態度の観察 ・実験レポートの提出	・問題演習 ・定期考査
	各学期や年間の学習状況の評価方法	・考査は年3回実施。各回とも考査点70%、平常点30%で成績を評価する。 ・平常点は、プレゼン発表、レポートの提出状況、授業態度である。			

学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃より、愛媛県の環境や地形、産業に興味を持つ。</li> <li>・授業は毎回真剣に受け、自主的に学習をする。</li> <li>・発表やレポートを重視しているので、プレゼン発表やレポート提出は評価の重要なポイントとなる。</li> </ul>
---------	---